

取扱説明書



ポンプヘッド

YZ35 シリーズ

重要事項

商品をご使用前に必ず取扱書説明書をお読みください。

注意事項

- 取扱説明書の内容は製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。
- チューブは消耗品です。消耗によって液漏れ等を起こす可能性があります。
その場合、送液の種類によっては人体や機器に影響を及ぼすことがありますので、都度チューブの状態をチェックし交換を行ってください。
- ポンプヘッドがアクシデント等により水に漬かった場合は、柔らかい布または吸収性のある布で拭き乾燥させてポンプヘッドのダメージを回避してください。
- チューブを交換したり掛け直したりする際には必ずポンプを止め、電源を切った状態で行ってください。指に深刻な裂傷を来す可能性があります。
- 稼働前にチューブをよく検査してください。
- 稼働後、使用したチューブのしごき箇所マーク等して次回使用時にしごき箇所を90度回転させて使用するか、しごき箇所を前後にずらす形で使用するとチューブ寿命が延びます。
- ポンプヘッドのトラックを開けて可動部に触れる際には以下の事項を必ずご確認ください。
 - ・必ずポンプの一次側電源を切り離すこと
 - ・チューブにかかっている圧力を取り払うこと
 - ・もしチューブに断裂等のダメージがある場合、液体を他の容器又はドレインに破棄すること
 - ・もし劇薬等の液体の場合、事前に防護手袋や防護眼鏡をすること
- チューブを長時間使用しないとチューブは徐々に劣化します。

目次

1. YZ35 について	2
2. ポンプヘッドの概要	2
3. ポンプヘッド据付方法	5
4. トラック部抑え調整ツマミ	6
5. 外形図	7
6. メンテナンス	7

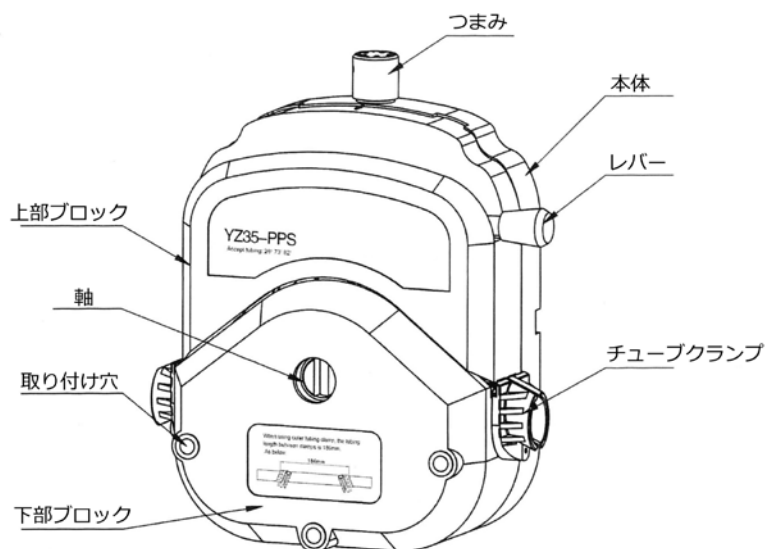
1. 商品説明

YZ35 型ポンプヘッドは容易に素早くチューブがセットできます。このポンプヘッドは用途に応じて連結が可能で OEM にマッチしたデザインとなっております。このポンプヘッドの素材は PPS で剛性があり理想的なパフォーマンスが実現できます。特別な高温下での使用や溶剤等の劇物からは避けてください。そうすることによりポンプヘッドはダメージを軽減できます。

YZ35 ポンプヘッド仕様

ポンプ ヘッド	サイズ ID×WT	Ml/r	流量 (ml/min) (0.1-600rpm)	排圧 MPa	重量 (kg)	
					アルミ	PPS
YZ35	6.4φ×3.2t	6.9	0.69-4200	0.2	4.36	1.5
	9.6φ×3.2t	12.3	1.23-7400	0.2		
	12.7φ×3.2t	20	2-12000	0.1		

2. ポンプヘッドの概要

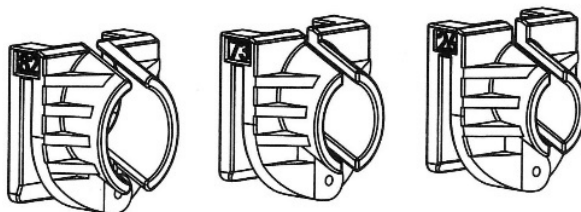


2.1 チューブクランプ概要

チューブクランプの働きとして、チューブをしっかりとホールドし稼働時にチューブのズレや捻じれを防ぎ、安定した正しい流量を確保するために使用します。またチューブの摩耗を軽減しチューブ寿命を高めるのに有効です。

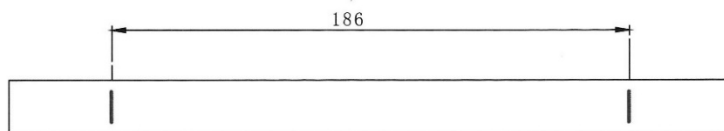
チューブクランプサイズは下記 3 種類となります。

- # 26 (ID=6.4φ、WT=3.2t)
- # 73 (ID=9.6φ、WT=3.2t)
- # 82 (ID=12.7φ、WT=3.2t)

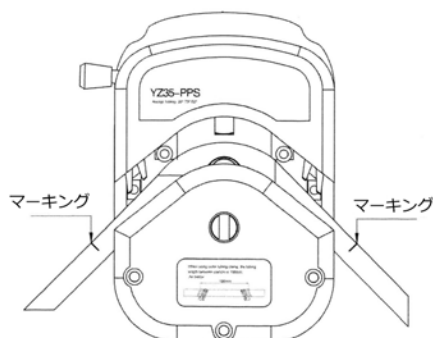


2.2 チューブの取り付け方

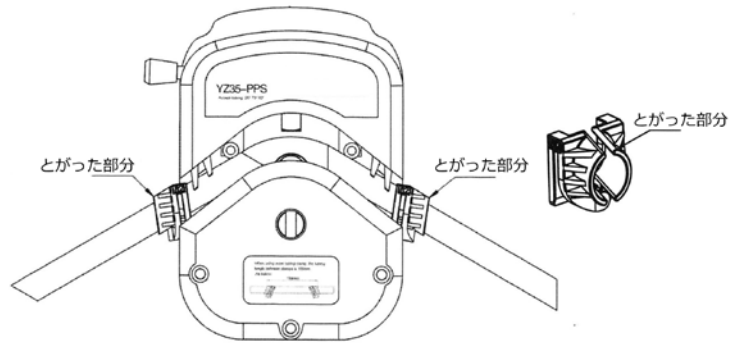
- ポンプヘッドのレバーを反時計回りに 180 度回転させ、トラックを開けます。
- 下記の図のようにチューブに 186 mm の間隔でマーキングを行います。



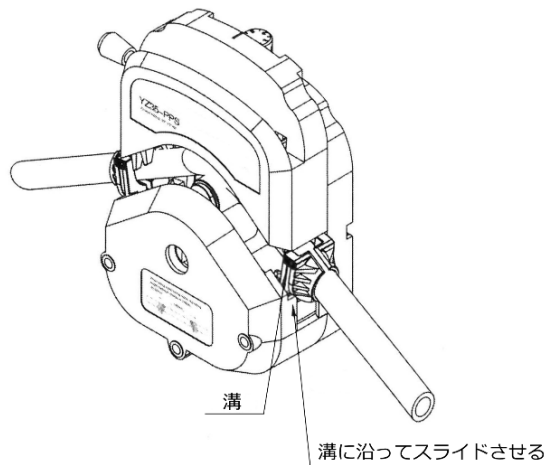
- チューブに付けたマーキングを上側に保ったままチューブを下図のように自然にセットします。



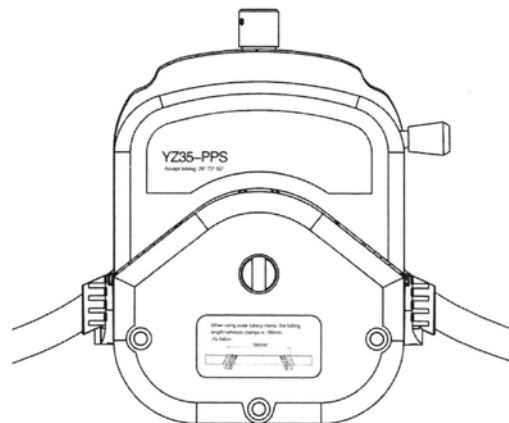
- チューブクランプを挿入する際、クランプのとがった部分をチューブに付けたマーキングに合わせてセットします。チューブクランプはポンプヘッド側面に合わせて並行となるようにしてください。



- チューブクランプを下図のポンプヘッドの脇にある溝に沿って差し込みます。この時強引に差し込むことは控えてください。



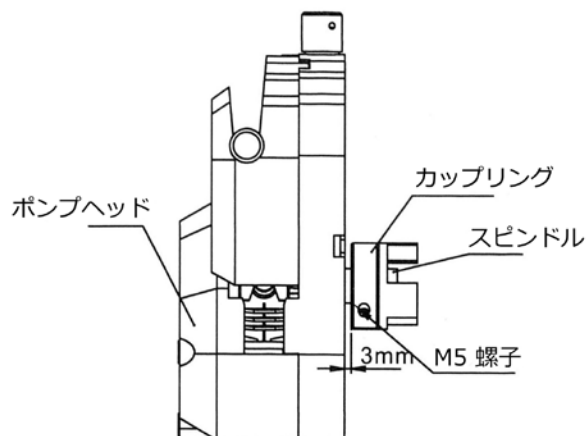
- 最初に上げたレバーを時計回り方向にゆっくり倒してロックします。これでチューブセット完了です。



3. ポンプヘッド据付概要

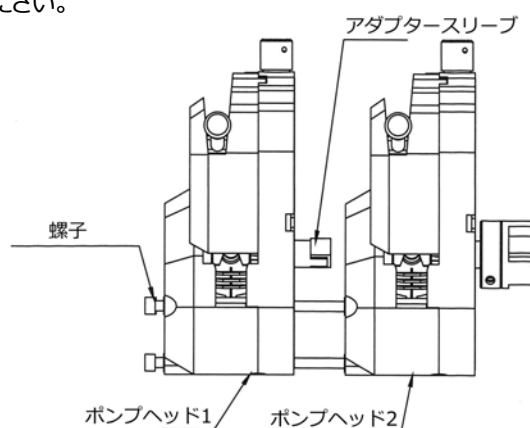
3.1 シングルポンプヘッド

最初にモーター接続用のカップリングをポンプヘッドの軸にセットし、ホローセットにて固定します。
固定したらモータードライブ側のカップリングに合わせてセットします。



3.2 連結ポンプヘッド

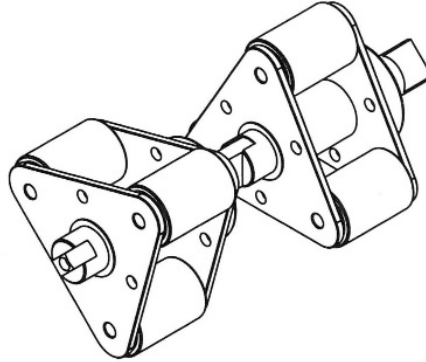
ポンプヘッドを連結して使用する場合、幅に応じた長めのスクリーボルトをご用意ください。
例えば2連結の場合、初めに1個目と2個目のポンプヘッドを軸スリーブに合わせてセットしてM5の長めのスクリーボルトでポンプヘッドを固定した後、モータードライブ側のカップリングにセットしてください。



備考：

ポンプヘッドを連結して使用する場合、下図のように3つのローラーの相がズれるように軸スリーブを合わせるようにしてください。

これは始動時などのモーターにかかる負荷を軽減したり連結ポンプヘッドの吐出側をYコネクター等で一つのルートに統合して脈動を軽減するのに有効です。



注記：連結の場合、軸と軸の間のスリーブは必須です。またポンプヘッド間をあまり強く締めすぎるとノイズの発生原因となる可能性がありますのでご注意ください。

4. トラック部抑え調整つまみ

このつまみによってトラックがチューブを抑える圧力の調整ができます。

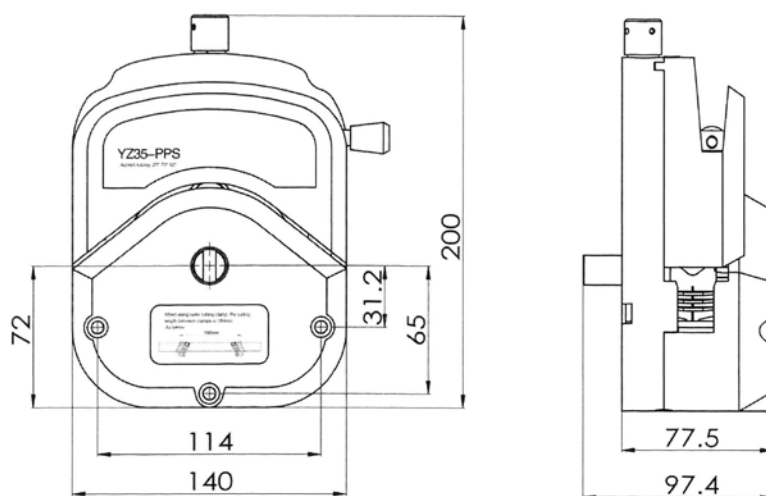
右回りで圧力が強くなり、左回りで弱くなります。

流量を微調整したい場合や液体の吸い込みが弱い場合などに用います。

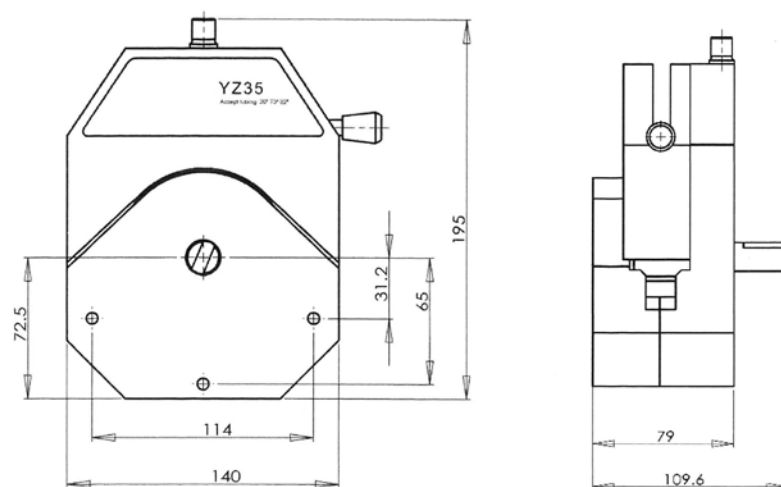


つまみ

5. 外形図（単位：ミリ）



YZ35-PPS ポンプヘッド



YZ35 アルミニウム合金ポンプヘッド

6. メンテナンス

ポンプヘッドを使用しない時は各箇所の働きを弱めないようにチューブは外し、抑え調整ツマミは最弱にした状態で保管ください。またローラーなどに付着したチューブ粕や液体は取り除き、乾燥した状態で保管してください。汚れたままの状態や溶剤などが付着した状態のまま放置するとポンプヘッドの寿命が縮まり、次回使用時のトラブルとなる可能性があります。